

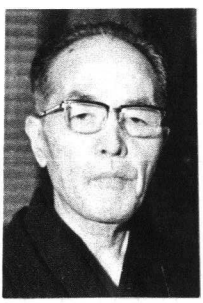
桑田忠親 くわだ ちかお 國史學者、文學博士。明治二十五年十一月二十一日  
東京生れ、昭和六十二年五月五日歿（九〇一八七）。大正十五年國學院  
大學卒。東京帝國大學史料編纂所勤務、うち母校教授。

著書『酒井忠次公傳』（昭和十四年九月六日先求院堂宇修繕後援會）、  
小瀬甫庵著『大閤記』全二冊（校訂、上・昭和十八年六月二十日、下  
・十九年九月二十日岩波書店「岩波文庫」）、『大閤書信』（昭和  
十八年七月二十日地人書館）、『武將の家訓』（昭和十九年七月二十日  
十日創元社「創元選書」）、『古田織部』（昭和二十一年二月十五日  
寶雲舎）、『片桐石州と茶道藝術』

（昭和二十五年一月二十日創元社）、  
『日本茶道史』（昭和二十九年二月  
二十一日角川書店）、『山上宗二記  
の研究』（昭和二十二年五月一日京  
都・河原書店）、『大閤の手紙』（昭  
和二十四年二月二十日文藝春秋新



社）、『典型的日本入』（合著、古川哲史編、昭和二十四年二月二十  
日誠信書房）、『家康の手紙』（昭和二十六年十一月十日文藝春秋新  
社）、『日本史千一夜』（昭和二十七年七月一日學生社「學生社新  
書」）、『義士石田三成』（昭和四十九年九月一日エール）、『徳川  
綱吉と元禄時代』（昭和五十年二月二十日秋田書店）、『日本史の



『歴史と真説』（昭和五十五年七月十五日聖文社）、  
『家康の天下盗り健康法―現代の生きる新サバイ  
バル学』（診断・杉靖三郎、昭和五十七年十一月

『二十五日集英社』、『思ひ出の本』(公算) 昭和五十九年十月十五日  
出版(ニュー入社)等。



日本史の異説と真説

桑田忠親



セイブンブックス

① 日本史の異説と真説  
桑田忠親  
聖文社